



／ かわいがるだけでなく
／ しっかり考えましょう！ ／

猫と楽しく暮らすために



動物は私たちが癒してくれます。しかし、飼い主の責任が果たされなければ、ペットは悪者になり、飼い主も周囲の方も不快な思いをしてしまいます。

飼い主は、ペットの命と社会に対する責任を自覚し、この機会に飼い方を見直してみましょう。

問 環境課 公害衛生係 ☎72-2101（内線 264・265）

！



知っていますか？猫の習性！



- ①繁殖力がとても強いため、本能のまま自由に交配が進むとねずみ算式に増えていきます。
- ②猫はキレイ好きなので、お掃除されたサラサラの土をトイレにします。
- ③適度な硬さのある場所で爪を研ぐため、近隣の車に傷をつけたりします。



オス



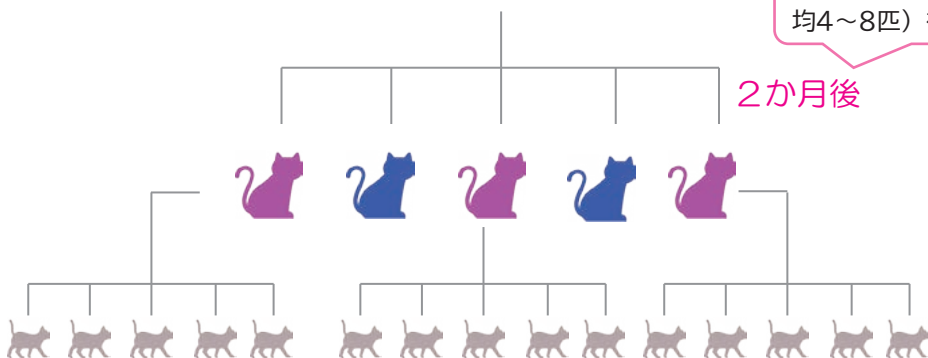
メス

猫の妊娠期間はおよそ2か月です。猫は交尾をすれば高確率で妊娠するため、2か月後には子猫（平均4～8匹）を出産するでしょう。

2か月後

猫は、生後半年程度で発情します。つまりは、二代目の子猫たちは、生後8か月ころには子猫を出産するでしょう。

8か月後



実際は、1代目の猫も、出産後に子猫が離乳する次の発情がすぐにやってくるので、計算上はこれ以上の数になると考えられます。猫の繁殖力はまさに「ねずみ算」です。増えてしまう前に繁殖制限手術を施しましょう。

！

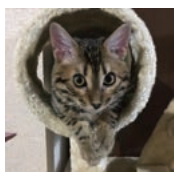


飼い方を見直してみましょう！



1 室内で飼いましょう！

屋外は、事故にあったり、感染症や寄生虫により病気になったり、迷子になったりと猫にとって危険がいっぱいです。臭いなどで周囲の住民に迷惑をかけることにより、近所トラブルを誘発することもあります。



2 不妊去勢手術を受けさせましょう！

猫は1回の出産で4～8匹の子を産み、年に2～4回出産することが可能です。不妊去勢手術をしないと、どんどん増え続けてしまいます。繁殖を望まない場合は、手術をしましょう。また、手術を受けることで、発情がなくなって性格が穏やかになり、飼いやすくなります。

3 無責任なエサやりはしません！

かわいそうだからといってエサをあげてかわいがるだけが「愛護」ではありません。エサやりをきっかけに繁殖し、周辺の住民に迷惑をかけてしまうことがあります。また毎年、事故などにより市内の路上で死亡し収容した動物は100体を超えます。こういった不幸な猫を増やさないために、無責任なエサやりはやめましょう。